

高知県感染症発生動向調査(週報)

2011年第40週[10月3日～10月9日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター
TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/
E-mail:kansen@ken4.pref.kochi.jp

インフルエンザの報告についてお願い

感染症発生動向調査報告様式のコメント欄にインフルエンザの迅速検査結果を記入していただきたく、新たに記入欄を追加いたしました。お忙しいところお手数をおかけいたしますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

県内情報

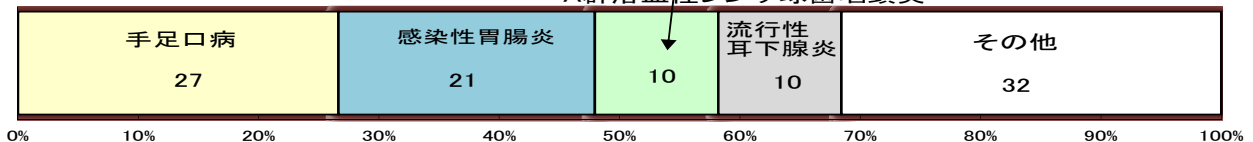
○ 患者情報総評

注意報発令疾患：手足口病

- 朝晩の最低気温がさらに低くなり、日中との気温差が激しく、体調管理に十分注意が必要である。
- 手足口病**（高幡：注意報→注意報，幡多：注意報→注意報，安芸：注意報→注意報，中央東：注意報→注意報）は安芸と高幡を除く地域で減少し、総数はさらに減少した。今後も終息に向かって減少傾向が続くと思われる。
- 感染性胃腸炎**は大幅な増加はみられていないが、11月頃からノロウイルス等の流行がみられ始め、報告数が急増するので、流行前から手洗いなどの予防を心がけてほしい。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**は安芸と幡多を除く地域で増加し、過去10年間の同時期としては最も多い報告数となった。今後の推移が注目される。
- 流行性耳下腺炎**（幡多：注意報，中央西：注意報）は幡多と中央西で注意報値を越し、総数は前週の約3倍に増加した。
- マイコプラズマ肺炎**（高知市：注意報→注意報）は総数は減少し注意報値を下回ったが、高知市では横ばいで引き続き注意報値を超している。また、基幹定点以外の定点医療機関からもホット情報として、マイコプラズマ肺炎が多数報告されている。搬入された検体から *Mycoplasma pneumonia* 6件が検出されており、今後も注意が必要である。

上位疾患構成図

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



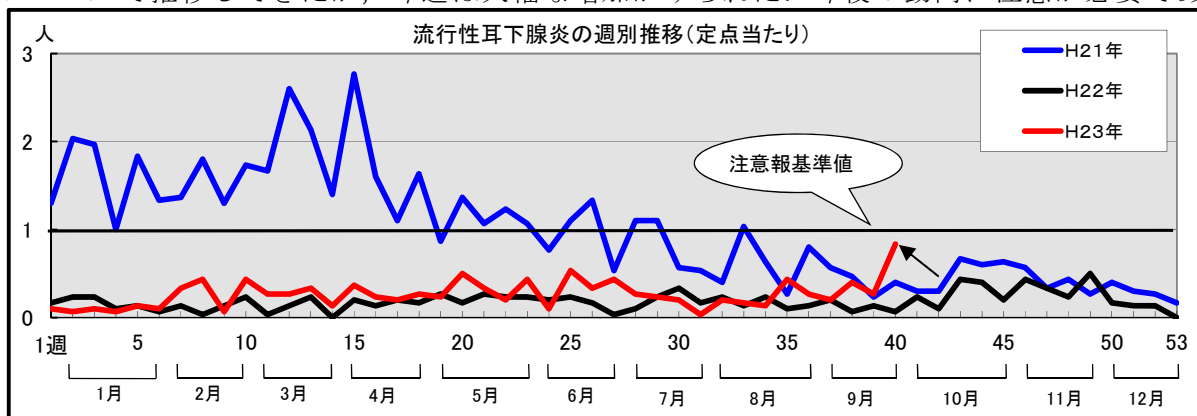
地域別感染症注意報・警報発生状況

第40報 (2011年10月3日～2011年10月9日)



流行性耳下腺炎：今週 0.83 (注意報値：1.00 警報値：3.00)

3～4年周期で流行がみられ、今回は平成18年から21年にかけて流行した。昨年(22年)と今年はいくつかのレベルで推移してきたが、今週は大幅な増加がみられた。今後の動向に注意が必要である。



インフルエンザ：今週 0.04 (注意報値：10.00 警報値：30.00)

今週インフルエンザの報告が2例あり、うち1例は迅速キットでB型陽性と報告された。例年11月に入ると報告が増加し始め、1月から3月の流行のピークに向かって急増するため、日頃の手洗い・うがいを心がけ、計画的にワクチン接種を行い予防してほしい。

検査情報

受付週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
40	感染性胃腸炎	5歳 男	中央東	<i>Campylobacter jejuni</i>
40	マイコプラズマ肺炎	11歳 女	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
40	マイコプラズマ肺炎	12歳 男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
40	マイコプラズマ肺炎	4歳 女	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
40	マイコプラズマ肺炎	9歳 女	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
40	マイコプラズマ肺炎	1歳 男	高幡	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
40	マイコプラズマ肺炎	4歳 男	高幡	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>

前週以前に搬入され検出された病原体

受付週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況	備考
35	急性気管支炎	1歳 女	高知市	Adenovirus 2	
35	手足口病	3歳 男	高知市	Coxsackievirus A16	
35	無菌性髄膜炎	1ヵ月 女	中央東	Coxsackievirus B1	重複(Rhinovirus:39週)
34	手足口病	2歳 女	高知市	Coxsackievirus A16	
34	手足口病	5歳 男	高幡	Coxsackievirus A16	
34	感染性胃腸炎	2歳 男	中央東	Coxsackievirus B1	重複(Rhinovirus:39週)
37	手足口病	1歳 女	高幡	Coxsackievirus B1	

○ 全数報告の感染症情報

2類感染症：結核 5例 (10代男) 《須崎》 (0～4歳, 10, 30代男, 80代女) 《中央東》 (今年145例)

5類感染症：急性脳炎 1例 (0～4歳) 《高知市》 (今年3例)

○ 定点からの地域ホット情報

幡多：

《さたけ小児科》：マイコプラズマ感染症 1例 (10歳男)

《渭南病院小児科》：マイコプラズマ肺炎 2例 (10歳女) アデノウイルス (±) 1例 (4歳女)

高幡：

《もりはた小児科》：マイコプラズマ肺炎 1例 (4歳男)

中央西：

《石黒小児科》：流行性耳下腺炎の1例 (6歳女) は予防接種済み

《日高クリニック》：マイコプラズマ気管支炎2例, マイコプラズマ肺炎1例 (5, 58歳男, 39歳女)

高知市：

《福井小児科・内科》：マイコプラズマ肺炎 1例 (3歳女)

《けら小児科・アレルギー科》：マイコプラズマ肺炎 7例（3歳男，6～10歳女） 帯状疱疹 1例（10歳男）
ヘルペス性歯肉口内炎 1例（5歳男）
カンピロバクター腸炎 1例（26歳男）

中央東：

《吉本小児科皮膚科》：カンピロバクター腸炎 1例（5歳男）
《あけぼの小児クリニック》：マイコプラズマ肺炎 2例（8歳） アデノウイルス咽頭炎 1例（2歳）
《早明浦病院小児科》：高熱，嘔吐を伴うA群溶血性レンサ球菌咽頭炎が増加

安芸：

《安芸病院小児科》：インフルエンザの1例はB型陽性

全国情報第38週（9/19～9/25）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核261例

3類感染症：細菌性赤痢11例、腸管出血性大腸菌感染症46例（有症者36例、うちHUS 1例）、腸チフス1例、パラチフス1例

4類感染症：A型肝炎1例、つつが虫病1例、デング熱2例、日本紅斑熱4例、マラリア4例、レジオネラ症8例、レプトスピラ症1例

5類感染症：アメーバ赤痢9例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、後天性免疫不全症候群9例（AIDS 2例、無症候6例、その他1例）、ジアルジア症1例、梅毒2例、破傷風1例、風しん1例、麻しん3例

報告遅れ：細菌性赤痢2例、E型肝炎1例、レプトスピラ症1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

◆細菌性赤痢（2011年9月28日現在）

2011年の細菌性赤痢は、診断第1～38週までの累積報告数が217例で、感染地域別では国外94例、国内121例、不明2例である。原因菌の菌種内訳は、*Shigella sonnei*が170例で最も多く、次いで*S. flexneri* 36例、*S. boydii* 9例、菌種不明2例である。

感染地域別の*S. sonnei* 感染者報告数は、第1～33週の累積では国外46例、国内38例と国外が多く、国内は0～8例/週で推移していた。しかし、第34週に国内の同系列外食チェーン店舗利用者で食中毒が発生したため、国内感染が19例と急増し、それ以降も第35週19例、第36週11例、第37週9例、第38週9例と通常よりも多い状態が続いている。

第34～38週の国内感染67例は、東北地方を中心として14都府県から報告されており、内訳は福島県20例、山形県12例、東京都7例、神奈川県5例、千葉県4例、宮城県3例、大阪府3例、福岡県3例、青森県2例、茨城県2例、埼玉県2例、愛知県2例、石川県1例、京都府1例である。男性30例、女性37例で、年齢中央値は35歳（2～82歳）である。このうち、第34～36週にかけて福島県、山形県、宮城県、神奈川県、青森県から報告された20例以上が、同系列の外食チェーン店舗を利用していた。さらに、福島県では第37週に2例、第38週に5例と*S. sonnei* 感染者の増加が再びみられている。

現在行われている菌株の分子疫学解析（MLVA法）では、上述の外食チェーン店舗に関連した症例に共通してみられるMLVA型が、第37～38週の福島県の症例のものと一致することが明らかとなった。またこの型以外にも、共通する型の菌が自治体を越えて認められており、異なる集団感染事例が同時期に起きている可能性も考えられる。

これらのことから、*S. sonnei* に汚染された食品を介した複数の広域感染、またはそれに関連した二次感染が継続していることが疑われる。そのため、*S. sonnei* 感染例に対する、喫食歴および食材の遡り調査、ならびに菌の分子疫学的解析等の積極的な疫学調査が引き続き必要である。

◆インフルエンザウイルス2011年第20週以降

2011年第20週以降はB型の報告数がA型の報告数を上回っていたが、第32週以降は報告がなく、第32～33週にAH1pdm09、第36週と第39週にAH3亜型が報告されている。

2011年第20～39週の累積では、AH1pdm09が2県から2件、AH3亜型が20都府県から56件、B型はビクトリア系統株が16道府県から74件、系統不明株が15都府県から49件報告されているが、山形系統株の報告はない。

直近の2011年第35～39週の5週間ではAH3亜型が第36週に神奈川県で5件（成人の通所施設での集団発生）、第39週に山口県で2件（幼稚園での集団発生）報告されている。

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(39週)	高知県(40週末累計) H23/1/3~H23/10/9
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ	2						2 (0.04)		185 (0.04)	12,338 (257.04)
小児科	咽頭結膜熱			1				1 (0.03)	7 (0.23)	508 (0.16)	315 (10.50)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		4	11	4	2	4	25 (0.83)	15 (0.50)	2,516 (0.80)	1,825 (60.83)
	感染性胃腸炎	2	9	24	8	3	6	52 (1.73)	42 (1.40)	8,149 (2.61)	6,571 (219.03)
	水痘	1	4	8	10			23 (0.77)	15 (0.50)	1,463 (0.47)	1,478 (49.27)
	手足口病	5	14	20	5	7	14	65 (2.17)	99 (3.30)	8,030 (2.57)	3,041 (101.37)
	伝染性紅斑			1	1		2	4 (0.13)	16 (0.53)	649 (0.21)	360 (12.00)
	突発性発疹	1	1	5	1	5	3	16 (0.53)	12 (0.40)	1,713 (0.55)	577 (19.23)
	百日咳								1 (0.03)	71 (0.02)	22 (0.73)
	ヘルパンギーナ	1		13		1	1	16 (0.53)	12 (0.40)	2,446 (0.78)	888 (29.60)
	流行性耳下腺炎			10	3		12	25 (0.83)	8 (0.27)	2,206 (0.71)	319 (10.63)
	RSウイルス感染症		1	7	1	1		10 (0.33)	8 (0.27)	1,781 (0.57)	590 (19.67)
眼科	急性出血性結膜炎									80 (0.12)	1 (0.33)
	流行性角結膜炎			2				2 (0.67)	1 (0.33)	390 (0.57)	40 (13.33)
基幹	細菌性髄膜炎									11 (0.02)	4 (0.57)
	無菌性髄膜炎									44 (0.10)	19 (2.71)
	マイコプラズマ肺炎			3				3 (0.43)	5 (0.71)	450 (0.97)	99 (14.14)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									14 (0.03)	8 (1.14)
計 (小児科定点当たり人数)		12 (5.50)	33 (4.71)	105 (9.09)	33 (11.00)	19 (9.50)	42 (8.40)	244 (7.94)			
前週 (小児科定点当たり人数)		9 (4.50)	45 (6.43)	102 (8.91)	34 (11.33)	11 (5.50)	40 (7.60)		241 (7.83)	30,706	28,495 (789.91)

定点当たり

第40週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(39週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ	0.50						0.04		0.04
小児科	咽頭結膜熱			0.09				0.03	0.23	0.16
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.57	1.00	1.33	1.00	0.80	0.83	0.50	0.80
	感染性胃腸炎	1.00	1.29	2.18	2.67	1.50	1.20	1.73	1.40	2.61
	水痘	0.50	0.57	0.73	3.33			0.77	0.50	0.47
	手足口病	2.50	2.00	1.82	1.67	3.50	2.80	2.17	3.30	2.57
	伝染性紅斑			0.09	0.33		0.40	0.13	0.53	0.21
	突発性発疹	0.50	0.14	0.45	0.33	2.50	0.60	0.53	0.40	0.55
	百日咳								0.03	0.02
	ヘルパンギーナ	0.50		1.18		0.50	0.20	0.53	0.40	0.78
	流行性耳下腺炎			0.91	1.00		2.40	0.83	0.27	0.71
	RSウイルス感染症		0.14	0.64	0.33	0.50		0.33	0.27	0.57
眼科	急性出血性結膜炎									0.12
	流行性角結膜炎			2.00				0.67	0.33	0.57
基幹	細菌性髄膜炎									0.02
	無菌性髄膜炎									0.10
	マイコプラズマ肺炎			0.60				0.43	0.71	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.03
計 (小児科定点当たり人数)		5.50	4.71	9.09	11.00	9.50	8.40	7.94		
前週 (小児科定点当たり人数)		4.50	6.43	8.91	11.33	5.50	7.60		7.83	

2011年週報推移(定点当たり)

